

浜松市障がい者自立支援協議会調整会議会議録

1 開催日時 令和元年10月7日(月) 午前2時から午後3時

2 開催場所 浜松市役所 北館1階101会議室

3 出席状況

区自立支援連絡会名	所属	出席者氏名	
中区自立支援連絡会	障がい者相談支援事業所アグネス	本宮 早奈映	
	中区社会福祉課	飯塚 康敬	
東区自立支援連絡会	障がい者相談支援事業所だんだん	平野 明臣	
	東区社会福祉課	濱埜 剛	
西区自立支援連絡会	障がい者相談支援事業所 まど	鈴木 宏幸	
	西区社会福祉課	安間 俊弘	
南区自立支援連絡会	障がい者相談支援センター 浜松南	後藤 翔一朗	
	南区社会福祉課	内藤 淳	
北区自立支援連絡会	障がい者相談支援事業所 ナルド	西澤 知代	
	北区社会福祉課	梶田 和彦	
浜北区自立支援連絡会	障がい者相談支援事業所 ぼるた	間木 義聡	
	浜北区社会福祉課	金原 真弓	
天竜区自立支援連絡会	障がい者相談支援事業所 てんりゅう	今田 将晴	
	天竜区社会福祉課	内山 敦子	
オブザーバー	障がい者相談支援事業所 シグナル	尾関 ゆかり	
事務局	障がい者基幹相談支援センター		雨宮 寛 岸 直樹
	障害保健福祉課	課長	田中 孝太郎
		課長補佐	久保田 尚宏
		生活支援第1グループ長	杉浦 彰則
		生活支援第2グループ長	柴田 多美子
		生活支援第2グループ	山内 愛美
		精神保健グループ	稲見 亮介

4 議事内容

- (1) 構成員向け研修会報告
- (2) 市協議会新体制検討
- (3) 各区からの課題提案
- (4) その他 専門部会からの報告

5 会議録作成者 障害保健福祉課生活支援グループ 山内

6 記録の方法 発言者の要点記録
録音の有無 無

7 会議記録

(1) 構成員向け研修会報告

資料1を元に説明

- ・今後も地域の実情に応じ、地域生活支援拠点事業を進めていく必要がある。

(2) 市協議会新体制検討

資料2を元に説明

<市全体会>

- ・人が固定されないような仕組みとし、基本的に任期は2年とするが、核になるメンバーは残す。メンバーとなっている専門部会会員は、報告がある場合のみ出席。

<企画会議>

- ・委託相談は各エリア1名が出席。
- ・今まで区の活動について市で把握をする機会がなかったため、エリア活動報告の場を設ける。

<当事者部会>

- ・意見交換だけでなく、専門部会やエリア活動状況の報告もする。

<市専門部会>

- ・エリアから上がってきた課題などを元にテーマは企画会議で決定。
- ・メンバーは事務局会議で選び、企画会議で決定。市専門部会には区職員も参加。
- ・調査・研究前にスケジュールを組み、期間は長くて1年。
- ・報告については、企画会議から全体会という流れ。
- ・専門部会は「相談支援部会」「権利擁護部会」「地域生活部会」の3つを大枠で設置を検討している。

<エリア専門部会>

- ・地域の実情に合わせて設置。
- ・市の専門部会からの課題等を受ける等、市の専門部会と連動する部会を設置。

<エリア全体会>

- ・地域課題解決に向けた協議をメインとし、意思決定ができる立場の人に参加してもらう。メンバーは多くても20人くらいとする。

<エリア当事者と意見交換ができる場>

- ・当事者の意見を聞くためにエリア部会やワーキングに参加してもらう。

<その他>

- ・市の要綱だけでなく、エリアの要綱も含めて内容を整える予定。

<意見>

- ・市の全体会に医療機関が入っていない。障がい者を支援するにあたり、医療機関の意見を聞くことは必要ではないか。
⇒(事務局)課内で検討をする。
- ・エリア当事者の意見を聞く場は月1回となっているが、目安で良いか。
⇒(事務局)目安が良い。
- ・エリア部会は、ネットワーク作りをメインとした部会もある。課題解決に特化した活動だけでなく多様性も認められるのか。
⇒(事務局)エリアのネットワーク作りは必要であるため、エリア専門部会は問題解決に特化しなくても良い。
- ・市の専門部会の課題やテーマが決まらないと、エリア専門部会は動けない。テー

マはいつ決まるのかスケジュールを確認したい。

⇒（事務局）年内に調整したいと考えているが、来年度課題が決まる部会もあると思われる。

（3）各区からの課題提案

①相談支援について資料3を元に説明

・相談員連絡会で取りまとめている各事業所の常勤換算を元に今年の7月の計画とモニタリングの実績から、相談員1人辺りの対応件数を出したところ、計画相談が足りていないという結果にはならない。まだ対応できる事業所があることから、市では相談員の底上げをしていきたい。

・セルフプランは、計画相談が足りないこと、本人が希望していることが要件となる。現段階では、市としてセルフプランは考えていない。

<意見>

・障がい児に関しては、繁忙期である12～3月の実績を出してもらいたい。

⇒（事務局）請求状況を改めて確認し報告をする。この課題に関しては、来年度専門部会で取り組むこととしたい。専門部会の中で計画相談の評価ができるようにしていくことも考えている。

②移動支援

南区より：居宅の部会から緊急時ヘルパーの同乗算定がもらえない、区毎で対応に差があるという意見が聞かれ、個別に配慮した対応ができないかと考え、提案をした。南区の事例は5事例ほどある。

⇒（事務局）移動支援の制度は利用しづらい現状があり、使える範囲が広げられないか、算定についても考えながら検討している。現在は制度設計中のため、また時期がきたら報告をする。

（4）その他

資料4を元に説明。

①退院して地域で暮らそう専門部会

<意見>

・専門部会や事例検討会は傍聴できるのか。

⇒（事務局）専門部会は傍聴可能。事例検討会は確認をする。

・地域で暮らそう部会は来年度どうなるのか。

⇒（事務局）協議会化を検討しているが、現段階ではまだ未定。

②こども専門部会

<意見>

・こども専門部会は来年度どうなるのか。こどもについての課題は多くあり、現場も困り感がある。今後も専門部会は続けていく必要がある。

⇒（事務局）今後の進行状況にもよるため、まだどうなるかはわからないが、現在出ている課題は相談支援部会で対応できる内容であるため、相談支援部会で検討を続けていく可能性もある。

<連絡事項>

・次回調整会議は、11月15日14時から。